平成２９年９月１０日

今週のベストショット

雁レク軟式７　奈多フェニックス　対　雁の巣ライナーズ戦

五回裏二死、何でもないフライのエラーからまさかの展開に・・・。

写真：ソルトベイスターズ　田中 裕次郎

雁レク７　ライナーズ、ひとつの相手ミスに乗じ一気に逆転！

奈多フェニックス（５勝５敗）０００３０１　４　　今林（勇）●ー実延（新）

雁の巣ライナーズ（５勝５敗）０００２４Ｘ　６　　有馬〇ー明瀬（航）

３ＢＨ：久保田（雁の巣）２ＢＨ：沖、安藤（奈多フ）盗塁：今林（勇）２

静かに始まったこのゲーム、両チームの投手の立ち上がりは良く、三回までは得点もなく投手戦の様相を見せていた。しかし四回表試合は動き出す。フェニックスは一死後、四番安藤選手が四球で出ると実延（新）選手が中前打で続く。六番今林（勇）選手はショートゴロで二死一三塁となるも、すかさず盗塁を決め二死二三塁に。ここで七番今林（英）選手のショートゴロの送球がワンバウンドで捕れず、二者生還しフェニックスが先制。さらに九番大田選手の右前打で１点追加し３ー０とする。対するライナーズは三番中口選手が中前打で出塁。続く宇野選手は四球で無死一二塁とする。一死後、六番国崎選手は三塁線への絶妙のバント。これが相手エラーを誘い１点を返す。さらに七番明瀬（航）選手の犠牲フライで１点を加え追い上げる。五回表、フェニックスは先頭の二番沖選手が二塁打を放つ。一死後、四番安藤選手のヒットで沖選手がホームを目指すが惜しくもタッチアウトとなり追加点は奪えず。ピンチを脱したライナーズはその裏、二死となり二番今林（颯）の当りはふらふらと内野フライ、それをなんとフェニックスの内野陣がお見合いしてしまい二死二塁となる。さらにＷＰと送球エラーで走者生還し、ライナーズは労せずして同点とする。攻撃はここで終わらず中口選手の内野安打、さらに宇野選手の左前打で続くと、五番久保田選手は見事センターへ三塁打を放ち２点追加し６−３と一気に逆転した。時間切れが迫った六回表、フェニックスは無死から走者を出すものの１点を返すのがやっと。ひとつのエラーから怒涛の攻撃で逆転したライナーズが見事勝利した。（記事・写真：ソルトベイスターズ　田中 裕次郎）

朝焼けの中、試合前の握手。

粘投のフェニックス今林勇太投手。

好投するライナーズ有馬投手。

ゴロに食らい付くライナーズ明瀬 旭遊撃手。

ランニングキャッチの宇野右翼手。

好守のライナーズ国崎三塁手。

スーパーファイン背面キャッチの高原中堅手。

好フィールディングの今林 勇太投手。

懸命にバンド処理するフェニックス西藤三塁手。

フライを大事に捕球するフェニックス沖遊撃手。

四回表、フェニックス九番太田選手の適時右前ヒット。

五回表、沖選手果敢にホームへ・・・タッチアウトォ！

五回裏二死、ここからフェニックスの悪夢は始まる。

五回裏、逆転三塁打を放つライナーズ五番久保田選手。

奈多グラウンド　三球会三回に集中打、試合を決める！

新町パイレーツ（４勝７敗）０００００２０　２　　八坂●ー大濱

三苫三球会　　（６勝５敗）１０３００×　４　　吉留〇ー藤澤

３ＢＨ：上村、半田、原口（三球会）２ＢＨ：長倉（新町パ）大津（三球会）盗塁：上村、藤澤（三球会）

和白新町パイレーツ初回の攻撃は、三苫三球会先発吉留投手に３人で打ち取られ、その裏三球会は、四球で出塁した一番上村選手を二塁に置き、三番大津選手の適時左前安打でホームに生還１点先制する。二回両チーム無得点で迎えた三回裏三球会は、三番大津選手のレフト線二塁打、五番半田選手の左中間三塁打、七番原口選手のレフト線三塁打で一気に３点を追加しパイレーツを引き離す。四回まで良い所がないパイレーツだが五回表に反撃開始。二番長倉選手のセンターオーバー二塁打、続く三番小林選手のセンター前安打で長倉選手が生還して１点を返し、さらに五番白岩選手がレフト前安打で小林選手が生還した。しかし反撃もここまで、六回表も３人で

打ち取られゲームセット。あと１歩のパイレーツだった。　（写真・記事：奈多サンデーズ　田中 俊弘）

本塁に突入する三球会藤澤選手。

打球を捌くパイレーツ長倉遊撃手。

打球を捌く三球会大津遊撃手。

三本間に挟まれる三球会原口選手。

打球を捌くパイレーツ小林三塁手。

本塁に突入するパイレーツ大野選手。

フライを裁く三球会堺 達也三塁手。

三塁への好走塁パイレーツ小林選手。

ガッチリ捕球三球会獄崎二塁手。

青松園Ａ　奈多クラブ２ホーマーを含む１２安打で快勝！

塩浜ジャガーズ（１勝１０敗）０００００１００　１　　内田●ー橋村

奈多クラブ　　（１１勝）　　２１１０１１×　６　　今林(瑠)○ー馬場口

ＨＲ：高瀬、吉田（奈多ク）３ＨＢ：今林(瑠)（奈多ク）２ＨＢ：馬場口２、住田（奈多ク）

盗塁：紺野（塩浜ジ）

　全勝の奈多クラブが貫禄を見せつけるのか？それとも塩浜ジャガーズが一矢報いるのか？注目の中、試合が開始された。一回裏、奈多クラブは二番今林(賢)選手がヒットで出塁すると三番今林(瑠)選手が適時三塁打であっという間に１点を先取。続く五番馬場口選手も適時二塁打でこの回２点。二回裏にも３本のヒットで１点、三回裏には高瀬選手のソロＨＲで１点と着実に点を重ねていった。塩浜ジャガーズも五回表に内田選手のヒットから相手失策もあり、九番福田選手が意地のタイムリーで１点を返す。しかし、奈多クラブ打線は勢いがあり五回裏二者連続二塁打で簡単に１点を返した。六回裏にも吉田選手のソロＨＲでまたも１点とし、時間を残しながらも七回フルイニングを戦い６対１で快勝した。塩浜ジャガーズは今林(瑠)投手の前に３安打１点と抑えられ惜しくも敗れはしたが、初回から最終回まで体を張ったプレーで再三にわたり攻守を見せた道喜選手が印象的だった。（記事・写真：三苫フレンズ　肥喜里 一征）

一回裏、ファーストゴロを軽快に捌く道喜選手。

一回裏、レフトへの三塁打を放った今林(瑠)選手。

全力のプレーが光るジャガーズ道喜一塁手。

三回裏、本塁打を放った奈多クラブ七番高瀬選手。

四回表、ジャガーズ初安打を放った紺野選手。

五回表、レフトへのタイムリーを放った福田選手。

五回裏、今日本目の二塁打を放った馬場口選手。

すかさず好走塁を見せた馬場口選手。

好守を見せるジャガーズ紺野三塁手。

六回裏、道喜一塁手が今日は再三攻守を見せた。

青松園Ｂ　１点を争う好ゲーム！制したのはウインズ！

レッドサンデーズ（４勝６敗）０００００１１０　　２　　土師、古賀●ー八島

新町ウインズ　　（８勝３敗）１０００１０１Ｘ　３　　藤田〇ー今林

ＨＲ：神田（レッド）３ＢＨ：木寺（レッド）盗塁：泉(太)２（新町ウ）

レッドサンデーズと新町ウインズ戦はウインズ藤田投手、レッド土師投手で始まった。初回先攻レッドは二番八島選手がウインズ藤田投手から綺麗にセンター前ヒットを放つも、後続を抑えられる。その裏ウインズは先頭の泉太一選手が四球と盗塁で二塁に進む。二死後四番桐島選手が鮮やかにセンター前ヒットで１点を先制！二回以降も藤田投手はレッド打線を０点に抑える。レッド土師投手も球を低めに集めウインズ打線を初回以降０点に抑え続けた。レッドが１点を追うゲームの中、五回表に試合が動いた。先頭の六番木寺選手が藤田投手からセンターオーバーの三塁打を放ち同点のチャンスを作る。続く土師選手は四球、そして一死後九番古賀選手はショート二塁寄りの打球を放ち、二塁フォースアウトの間に三塁ランナーがホームに返りレッドに待望の１点が入る！しかし同点も束の間、その裏ウインズは先頭藤田選手が四球を選ぶと九番渡辺選手が上手くライト前ヒットを放ち、一番泉太一の四球で一死満塁。ここで二番安藤選手がライト前タイムリーヒットを放ち、再びウインズが１点リード。更にチャンスは続き、三番今林選手が放ったセンターフライは犠牲フライで追加点になるか！？と思われたが、レッド川原（正）中堅守の好返球でホームタッチアウト！追加点ならなかった。追いつきたいレッドは五回表、三番神田選手がレフトの頭上を越えるＨＲを放ち再び同点。ゲームは盛り上がりを魅せる。同点のまま最終七回表レッドの攻撃。先頭の五番近藤選手がセンター前ヒットを放つとＷＰで二進。そして木寺選手の打球は内野エラーを誘い無死一三塁のチャンス。レッド八島監督は打者を激励し盛り上げるが、ここはウインズ藤田投手が踏ん張る。雄叫びを上げながら後続を一邪飛、三振、内野フライに仕留め点を与えなかった。その裏ウインズは、九番渡辺選手が打撃妨害で出塁すると、内野エラー等で一死満塁とサヨナラのチャンス。そしてウインズ四番桐島選手が打席に入る。レッド古賀投手は丁寧な投球で攻めるが、桐島選手が粘りながらもライト前に打球を放ち、サヨナラゲームで接戦が制した。ウインズ安藤監督は七回表がポイントで、後続を雄叫びで封じた藤田投手を称賛された。レッドサンデーズ監督八島監督もその攻撃で点を挙げられなかったことがポイントだったとのこと。藤田投手の熱投と土師投手、古賀投手が八島捕手の好リードもあり丁寧なピッチングで１点を争う好ゲームで少ないチャンスに得点したウインズの打線は素晴らしかった。両チームの皆さま、熱戦を戦いお疲れ様でした。(記事：三友クラブ　駄原 孝一郎、写真：大坪 和則)

四死球が少なく気合のこもった投球の新町ウインズ藤田投手。

急遽先発指名だったが好投したレッドサンデーズ先発の土師投手。

一回裏、先制のホームを踏むウインズ泉(太)選手。

一回裏、サードゴロをさばくサンデーズ梅野選手。

四回裏二死からマウンドに上がるレッド古賀投手。

五回表、レッド六番木寺選手がチャンスメイクの三塁打。

五回裏、上手くライト前ヒットを放つウインズ渡辺選手。

五回裏、タイムリーを放ち笑顔のウインズ安藤選手。

五回裏、好返球でタッチアウト！ブロックする八島捕手。

六回表、同点ＨＲでベンチに迎えられるレッド三番神田選手。

七回表、センター前ヒットで塁に出るレッド近藤選手。

七回裏一死満塁で、桐島選手の打球は一二塁間を抜く。

先制タイムリーと試合を決めるサヨナラ打を放ったウインズ四番桐島選手。

第２０週編集後記

ＷＳＬの皆さんコンニチハ！

雁レク７の奈多フェニックス対雁の巣ライナーズ戦は、四回表にフェニックスが３点を先制すれば、エラーと犠飛で１点差にしたライナーズ。五回表ライナーズセンター中口選手が捕殺で追加点を防ぐと、五回裏二死からなんでもない二遊間のフライをフェニックス沖、太田両選手が譲り合ってエラー。そこから４連打で４点を挙げ逆転。六回のフェニックスの反撃を１点に抑え、４－６でライナーズの勝利。少ないチャンスに安打を集中させた見事な逆転勝利だった。

奈多グラウンドの和白新町パイレーツ対三苫三球会戦は、初回に先制した三球会は三回裏に３本の長打で３点追加。４点を追うパイレーツは四回まで三塁を踏ませて貰えなかったが、五回表に３安打で２点を返すも最終六回を３人で抑えられ、２－４で三球会の勝利。６四死球を貰いながらうまく点に結び付けられ無かったパイレーツの工夫に期待したい。

　青松園Ａの塩浜ジャガーズ対奈多クラブ戦は、奈多クラブ今林瑠生投手が昨年の唯一の敗戦の原因（？）ジャガーズ相手に投打にわたって活躍。投げては３安打１失点、打っては４打数３安打。チーム全体でも１２安打２ＨＲ６得点。１－６で奈多クラブが勝ち無傷の１１連勝。

　青松園Ｂのレッドサンデーズ対新町ウインズ戦は、当初先発１番打者の古賀投手の遅刻から打順が１つずつ繰り上がるレッド。その影響もあったのか四回まで三塁を踏めない拙攻。一方ここまで４度のサヨナラ勝ちを収めてきたウインズは、初回に四番桐島選手がきっちり仕事をこなし先制する。レッドは長打を活かして２－２の同点に追いつき、最終七回表に無死一三塁の逆転のチャンスもウインズ藤田投手が踏ん張り無得点。一方ウインズはまたしても四番桐島選手が一死満塁でサヨナラタイムリーを放ち、今季８勝中５勝がサヨナラゲームでの勝利。この試合レッドは、本来なら差し迫った大事な場面で使いたかったバントの名手の梅野選手を初回から投入しなくてはならず、途中交代で下げざるを得なかった選手起用が仇となった。

　９月９日（土）の運営会議後に行われた「Ｇｏ！Ｄｏ！飲み会２０１７」も大盛会のうちに幕を閉じ、翌日も熱戦が繰り広げられました。

いよいよシーズンも終盤に差し掛かり、記録の方もこの２０週目からＵＰせず、結果は納会のお楽しみということになりました。

個人記録と共に優勝争いも３チームに絞られ、激化しています。

９月１７日は台風１８号の接近のため、１６日の時点で全試合中止が決定しました。

この中止がどのような影響をもたらすのか？

皆さん、最後まで手を抜かず全力プレーをお願いします。